

(様式3)

会議の開催結果について

1 会議名	第1回 河内長野市学校保健会
2 開催日時	令和3年12月13日 月曜日 14時00分から
3 開催場所	河内長野市役所 3階 301会議室
4 会議の概要	<ul style="list-style-type: none">○ 会長・副会長の選出○ 令和3年度定期健康診断の結果報告等○ 学校における感染症対策について
5 公開・非公開の別 (理由)	公開 (一部個人情報を扱う時には非公開)
6 傍聴人数	0 人
7 問い合わせ先	(担当課名) 教育指導課 (内線 755)
8 その他	

*同一の会議が1週間以内に複数回開催された場合は、まとめて記入できるものとする。

令和3年度 第1回河内長野市学校保健会（報告）

日時 令和3年12月13日(月) 14:00～15:15

場所 301会議室

事務局出席 安田理事・生田課長・篠崎参事・小関主幹

1. 委嘱状交付
2. 挨拶（教育長）
3. 委員紹介と事務局紹介
4. 会長・副会長の選出 会長 鳶田委員（石仏小学校）
副会長 井上委員（歯科医師会）
5. 議題

【医】医師会、【歯】歯科医師会、【薬】薬剤師会、【保】保健所、【学】学校長 【養】養護教諭、【保】保健主事、【事】事務局、【会】会長

①令和3年度定期健康診断および学校環境衛生検査結果について報告（事務局）

尿検査、心臓検診、歯科健診、視力検査結果および水質検査、プール水質検査、照度検査結果について報告

【事】学校では、GIGAスクール構想により、1人1台端末が整備され、それらを活用した授業を展開している。また、内閣府の調査によると、家庭においては、中学生では97.4%、小学生では82.4%の児童生徒がインターネットを利用していると回答している。その多くは、スマートホンやタブレットで、動画視聴やゲームに時間を費やしていると回答しており、子どもたちは日々ICT機器を利用している状況にある。

今回の視力検査結果の要因がすべてICT機器にあるとは当然言えないが、子どもたちの生活の中で、日々ICT機器を使用していることは現状としてある。

委員の皆さまには、児童生徒がICT機器を使用するにあたり、目の健康のため、学校において、どのような配慮が必要か、またどんな配慮ができるのか、ご意見賜りたい。

【保】タブレットを使用する際の姿勢が保ちにくい状態がみられ、視力低下を心配している。学校では、1分間体操を取り入れている。

【保】情報教育の一環として、生徒にアンケートを実施した結果、家庭でスマートホンなど平均3時間と長時間使用していることがわかった。使用は3時間くらいと保護者が認識しているが、生徒は5時間くらい使うこともあると答えているなど、認識に差があることもわかった。生徒が自分たちでルール作りに取り組んだりした。

【薬】使用の環境として、以前は、明るさを重視することもあったが、文科省の資料によると、明るさよりも、画面への映り込みや太陽光のキラキラしたまぶしさを防ぐことが大事とある。明るさ暗さより、画面と目の距離が大切で、姿勢指導も効果的ではないか。

【事】市では、学校の照明器具を順次LEDへの交換を予定している。器具を交換した場合、LEDは剥きだしではなく、カバーを取り付けるので、照明によるまぶしさや映り込

みが軽減されると思われる。

【歯】校医校でのアンケートによると、児童の訴える症状に「眠い」が多かった。眠る直前までスマートホンなど使用していると熟睡できず、視力だけでなく、睡眠の質にも影響があり、全身にかかわることで、心配だ。

【保】保健体育の授業では、タブレット等使用時姿勢について取り上げていることもある。

【養】体重測定時の保健指導や掲示板に貼るポスター、また、視力検査時に、測定結果が低下している児童への資料として文科省の資料を活用できる。また、家庭での使用も多いことから、保護者へ保健だよりでの啓発もできると考える。

【学】子どもたちは、保護者がスマートホンの買い替えの時に使用しなくなったものを与えられて使用していることが多いと思う。

【会】委員の皆さんの話から、学校での指導も必要ですが、家庭でのこともあるので、学校保健委員会や学校運営協議会で議題とし協議することも考えられる。

【歯】歯科健診の結果より、DMF指数が1.0以下を保っていることは、一安心。しかし、コロナの影響で、歯科医院の受診率が下がっているかもしれないことから、今後もモチベーションを上げられるような指導や健診が必要。歯みがき指導は、飛沫を伴うので課題がある。コロナの影響でも実施できるよう、リモートで実施するなど、いろんな選択肢を持っておきたい。

②学校における感染症対策について

【事】この冬は、新型コロナウイルス対策はもちろん、インフルエンザの流行も懸念され、今回は、新型コロナウイルス感染症以外に気をつけなければいけない感染症やその対策について、お諮りいただきたい。

【養】小学校での欠席者は、発熱での欠席がチラホラ。感染性胃腸炎やヘルパンギーナでの欠席者もある。

【養】中学校では、まだそれほど欠席は増えていない。インフルエンザの発生もない。

【医】現在、感染性胃腸炎が増加してきており、この時期に流行するのは、毎年の傾向。次に増加している手足口病やヘルパンギーナは、通常夏に多く発生があるが、新型コロナウイルスの流行により、流行のパターンが変わってきているのではないと思われる。

【医】ウイルスの世界でも、生物は一強でないと生き残れない。新型コロナウイルスが流行し、独占していたため、他の感染症が抑えられていたのかもしれない。

【保】結核は、治療が進んでいるが、まだまだ感染することがある。しかし、新型コロナウイルスの影響が罹患率が低下している。自宅内の感染は依然あるものの、マスクを着用し飛沫が抑えられているためか、屋外での感染は減少している。ノロウイルスやO157の発生があるのは、アルコールでの消毒はしても、塩素でのみ消毒されるこれらのウイルスには、しっかり手洗いができていないと感染が起こるからかもしれない。

【医】感染対策は、エビデンスのあるものを取り入れ、感染経路を考えて行うべき。手洗い指導も大事。

【医】感染対策は必要だが、ゼロリスクにしようとする、日常生活が不便になってしまうので、バランスも大切。

【歯】感染対策のために閉塞感が大きくなり、心の問題につながっていないか。シンプルに立ち戻り、モノを清潔にするということはどういうことかを指導する必要がある。

【医】5～11歳のワクチン接種について情報提供。海外でのファイザー製コロナワクチンの小児への効果について説明。

6.事務連絡

①今年度の学校保健研修会について

講師等は、歯科医師会が担当し、11月18日（木）14：00～キタバあやたホールにて実施した。参加者は、42名あった。

R4研修会の担当は、薬剤師会

②第2回学校保健会の開催について

今後の状況をみながら、必要となった場合は、開催することとする。